

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

| | | | |
|-----------|--|---------------------|--------|
| 1 施設名 | 仙台市子育てふれあいプラザ泉中央 | | |
| 2 指定管理者 | 一般社団法人マザー・ウイング | | |
| 3 指定期間 | 令和4年4月1日～令和9年3月31日 | | |
| 4 施設の利用状況 | 《利用者数》 令和4年度 32,612人(前年度比 147.6%) 内訳 ひろば:21,064人 託児:1,456人 中高生:7,991人 子育て支援者:531人 ホール:1,570人(44件) ※視察等:561人 令和3年度 22,094人 令和2年度 20,204人 | | |
| | 《事業》 乳幼児親子の交流の場の提供、一時預かり、子育てに関する情報収集・提供等、子育てを総合的に支援する事業 子育てに関する事業を行う者(子育て支援活動団体)に関する事業、中高生に関する事業 | | |
| 5 収支の状況 | 《費用》 ()は前年度決算額 | | |
| | ・ 指定管理者に支払った費用 | 65,573千円 (56,874千円) | |
| | ・ その他市が負担した費用 | 0千円 (0千円) | |
| 5 収支の状況 | 《収入》 | | |
| | ・ 使用料収入 | 3,450千円 (2,116千円) | ※託児収入 |
| | | 399千円 (111千円) | ※ホール収入 |
| 5 収支の状況 | ・ その他収入 | 122千円 (121千円) | |
| | 《実施状況》 | | |
| | ・意見箱の設置 ・イベント参加者に対してアンケートを実施 | | |

二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

| 評価分野 | 所見 | 評価 |
|----------------|--|-------|
| I 総則 | <ul style="list-style-type: none"> 仙台市子育てふれあいプラザ条例、モニタリング調査項目を参考に内容を整備した研修を、全職員を対象に毎年実施しており、仕様書に示す関係法令及び条例等を遵守した施設運営につなげている。 プレパパママ、父親向けのイベントを積極的に開催し、幅広い対象者に子育てに関する支援を行ったほか、近隣大学から実習生を受け入れ、これからの支援者になり得る世代に対しても学びの機会を提供するなど、総合的な支援を行っている。 イベント申込において先着順で受付を行いながら、定員の関係上どうしても受付できないときは、類似したほかのイベントや、講師がのびすく以外で実施している講座を紹介しているほか、オンラインイベントを開催し、直接来館できない利用者にも参加できる機会を提供するなど、公平・公正な対応を行っている。 | 21/21 |
| II 施設の運営管理体制 | <ul style="list-style-type: none"> 経理担当、館長による日々の管理のほか、毎月末には会計士によるチェックを行うことで、適切な経理書類の作成、指定管理料の執行を行っている。 採用時の新人研修、年1回の全職員研修で、個人情報や情報セキュリティについて取り扱い、職員の意識啓発を行っている。 泉図書館との共同防災訓練を年2回行うほか、3月には防災イベントを実施し、利用者参加型の避難訓練を行っている。訓練には警察や防災士を招き、専門的な助言を受け、災害発生時の対応体制を確立している。 | 29/29 |
| III 施設・設備の維持管理 | <ul style="list-style-type: none"> チェックリストを用いた施設内の安全点検を1日3回実施し、利用者の安全性を確保している。 設備の不具合が生じた際は、ビル管理会社や本市に対する報告体制が確立されている。 | 19/19 |
| IV サービスの質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> パンフレットや案内掲示の活用のほか、実際の利用者が案内人となる施設紹介イベントを実施することで、利用者の目線に立った情報を提供し、初めての来館者でも利用しやすい環境を整えている。 イベントごとにチラシを作成し区役所家庭健康課に配架したほか、子育て支援活動団体に関するチラシは市民センター、中高生に関するチラシは近隣の中学・高校など、内容に応じて配架場所を選定し、利用促進につなげている。 マニュアルの整備や座学研修に加えてOJTを導入し、より実践的な学びの機会をつくることで、職員の質の向上に努めている。 | 28/28 |
| V 施設固有の基準 | <ul style="list-style-type: none"> 一時預かり事業において、利用に対する抵抗が少しでも軽くなるよう、託児室の利用がない時間帯には、見学や説明会を行っている。 市内の子育て支援関係者交流事業の事務局を担っていること、子育て支援団体の活動支援を行っていることをいかし、関係者に対する積極的な広報や合同イベントを実施するなど、日頃から連携を行っている。 | 11/11 |

三 評価総括

| 《指定管理者（一般社団法人マザー・ウイング）による自己評価》 |
|---|
| <p>令和4年度はコロナ禍に対して、ひろばに来るのに不安を抱えた方と、早く制限を解除してほしいと望む方とに2極化し、どちらにも丁寧に対応をしていく年となった。事業の策定にあたっては従来通り、職員からのアイデアや意見を聴き、利用者のニーズに寄り添って事業を行った。特にイベント数を減らした代わりに、日数を増やして事業を実施した点、日常のひろばにおいての交流を促すため乳幼児用の名札作成セットを設置し着用を提案した点、スタッフがイベントなどとは別にひろば内で親子ふれあい遊びを実施した点などが好評だった。相談、情報提供等、多くの事業を、安全に満足度高く実施することができた。</p> <p>託児においては、コロナ禍での利用減が続き、事業収益の見込みが下方修正される中だったが、安全に感染対策を行いながら実施することができた。</p> <p>子育て支援者の活動支援においては、サポーターズバンク、団体登録等「新たに活動を始めたい」「そろそろ活動を再開したい」という層と、保育施設などのマッチングがうまくいき、メディアに取り上げられるなど活性化をすることができた。</p> <p>中高生事業では、大学生スタッフによるピアサポートの良さを活かした運営を行うことができた。</p> <p>ホール運営については、建物の老朽化、コロナ禍での閉館や定員制限でリピート率が下がるなど、引き続き課題が多くあると感じている。施設全体として経年劣化による修理、故障が発生してきている。利用者に快適な環境を提供できるよう今後も子育て家庭に寄り添って運営していきたい。</p> |

| 《施設設置者（仙台市）による評価》 | 総合評価 |
|--|------|
| <p>ひろば事業では、年間を通じて多種多様なイベントを実施し、子育てを総合的に支援する運営を行っている。コロナ禍による影響が続いた1年だったが、少しでも多くの乳幼児親子に働きかけられることができるよう、適宜定員を調整したり、オンラインによるイベント運営を行ったりと工夫している。また、泉図書館との併設であることを生かし、同図書館による絵本読み聞かせイベント、同図書館から絵本パックを借り入れた絵本ボランティアによる季節イベントを実施。どちらも人気のイベントとなっている。利用者からの子育てに関する相談も多く寄せられる中、対面以外でも電話やオンラインで受付を行い、必要に応じて子育て支援専門相談員NoKoColにつないだ。</p> <p>一時預かり事業では、子どもを預けることに対する不安感が軽くなるよう、リフレッシュ目的や短時間でも利用できる旨を記載した専用チラシを作成し、近隣の支援センターや幼稚園に配布したほか、託児室の利用がない時間帯には、その場の利用者に見学を促すなど、積極的な広報を行っている。これらの効果もあつてか、前年度と比較して1.5倍以上の利用者を受け入れた。</p> <p>子育て支援活動団体に関する事業では、団体からの相談に随時対応し、立ち上げ、継続、活動促進などの段階に応じた情報提供・助言を行っている。</p> <p>中高生に関する事業では、中高生の主体的な利用を促すため、委員を募り、月1回のミーティングを実施している。異世代との交流の促進や、進路に対する考えを深めるために、大学生スタッフによる企画運営や情報ボードの更新などを行っている。</p> | S |

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

| 特記事項 |
|--|
| <p>令和3年度末に発生した地震の影響で年間を通して各種修繕が必要となったが、併設の泉図書館と連携しながら対応し、利用者が安全に過ごすことができる施設運営を行った。</p> |

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども家庭部総務課